

<「知るっば！久留米」 令和3年10月28日(木) 12:30~放送分>

## 北野地域の魅力 ～第4回～ 「地域おこし協力隊の活動」

<ゲスト：久留米市地域おこし協力隊 井上 未央さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

今月は、久留米市の北東部に位置する『北野地域の魅力』をテーマにお送りしています。

ゲストはこの方です。

ゲスト:井上さん(以下「井上」)

こんにちは!

久留米市地域おこし協力隊で、東部まちづくりプランナーをしている井上未央です。

よろしくお願いします。

坂本 よろしくお祈いします!

第4回目、最終回の今回は、『地域おこし協力隊の活動』というテーマでお送りします。

井上さんは、久留米市地域おこし協力隊をされていますが、

そもそも地域おこし協力隊のことを知らない方もいらっしゃるかもしれませんので、

簡単に説明してください。

井上 地域おこし協力隊とは、過疎や高齢化が著しい地方が、  
地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行い、  
その後定住定着を図るといふ国の制度です。  
現在、5500名以上の隊員が全国各地で活動しています。

坂本 いきなり固い感じの話になりましたね。

つまり、地域を元気にしてくれる人材で、色々なアドバイスをしたり、  
一緒に活動をしたりして下さるといふことですね。

具体的に、毎日どこで、どんなことをされているのかをお聞きしてみたいと思います。

井上 私は、北野総合支所の産業振興課といふところにて、観光の担当をしています。  
ほかに農業の担当の方がいらっしゃったり、施設の運営を任される方、  
田主丸の黒田さんのように移住定住促進の担当の方もいらっしゃいます。  
最長3年の任期で、退任後は就職するなり、自営業をするなり、  
とにかく自分で収入を得られるようにしないといけないので、  
任期中は、退任後もその町で暮らしていけるように準備をする期間でもあります。

縁もゆかりもない田舎の町へ移住するので、それなりの時間も準備も必要ですよ。

幸い、私はたくさんの方々から可愛がっていただいております、

ものすごく北野町が気に入っております。

すっかり北野の人になったつもりでいます。(笑)

坂本 3年の任期ということで、後が大変だろうなという気がしますけど、

その3年間の「任期」の中で、地元の方からの「人気」も高まったということで、

お後がよろしいようで。(笑)

では、井上さんは地域おこし協力隊の東部まちづくりプランナーをされているということですが、具体的にどのような活動をされているのですか？

井上 私のミッションは、情報発信と商品開発の2つがメインなのですが、

主にInstagramとFacebookで「きたのさんぽ」というアカウントを運営しています。

北野や田主丸などの東部エリアを中心に、観光情報や日々のこと、

季節の風景だったりを交えつつ更新しています。

坂本 私もインスタを拝見していますけども、なかなかすてきな写真とか、

可愛らしい写真とかが出てきて楽しそうだなと思っています。

井上 今、畑を借りているんですけど、そこの収穫が楽しくて、

つつい収穫物の写真ばかりになってしまっていたんですけど、

それも、北野に移住して楽しんでいるという発信ということで、ご愛敬といった感じですね。

その他の活動は、1年目に「きたののうふふ」と題して、

北野の野菜や加工品を集めてエマックス久留米や県庁のロビー展などで販売を行いました。

今年度は、コロナ禍のせいで出来ていませんが、タイミングをうかがっているような状態ですね。

坂本 なかなかイベントをしづらいので、SNSなどでの発信が大事になってくるのかなと思いますね。

地元の皆さんとコラボをしていたりしますか？

井上 他には、久留米大学の生徒さんと「廃棄になってしまう柿をどうにかしよう」ということで、

柿のマカロンを考えて作ったりもしましたね。

このグループが男の子ばかりのグループで、お菓子作りも何もしたことがない子達だったので、

「こりゃ無理かもしれん…」と思っていたのですが、どうにかせんといかんと考えていたら、

最後に大化けして、とってもしきれいで美味しいマカロンが出来てびっくりしました。

そして、そのマカロンを田主丸駅で開催された「A列車で行こう！」のマルシェで販売させてもらい、

無事に完売することができて良かったなと思います。

坂本 良かったですね。学生さんたちもうれしかったでしょうね。

最近のトピックスは何かありますか？

井上 最近は、善導寺で開催している「戌の日マルシェ」の運営のお手伝いや出展をしたり、観光アンバサダー事業のお手伝いもさせてもらっています。  
あと、みやま市の協力隊の方とつながりができましたので、「いつか福岡県内の協力隊を集めて、みんなで何かしたいね!」といった具合で、ポチポチ忙しくしています。

坂本 他の地域の協力隊の方とつながって、色々なことを協力されているというのはおもしろいですね。  
地域おこし協力隊は最長で3年の任期ですが、今後、任期満了後の活動の予定や引退後の計画などはありますか？

井上 まずは任期中の話になりますが、今後、近隣の三井中央高校の生徒さんと一緒に商品開発をしたいなど計画しています。  
三井中央高校は、今までに北野の特産の「山汐漬け」を使ったベーグルや「ベジつくねサンド」といった商品を地域のお店協力のもと開発されています。  
今回は、ぜひともお土産になるような甘いものの開発を一緒に取り組めたらいいなと思っています。

坂本 それでは、いよいよ退任後はどうするのかという話になるのですが？

井上 退任後は、北野にガッツリ定住するつもりでおります。  
まだ土地も何も無い状態なのですが、ゆくゆくは家を建てて、自宅の敷地内に小さな工房を持って、ベーキングパウダー不使用・完全無添加のマフィンをはじめとした、「体に優しく、食べても美味しい焼き菓子のお店」をしたいなと思っています。  
「体に優しく、食べても美味しい」というのは、以前パン屋をしていた頃からとても大切にしているコンセプトなので、頑張りたいなと思っています。

坂本 それが、北野町の新しい名物になったりしてね。

井上 そうなるように頑張ります！

坂本 期待しています！今後も、地域の皆さんと一緒に地域を元気にする活動をしてほしいと思います。  
地域おこし協力隊の井上さん、4回にわたって楽しいお話をありがとうございました。  
来月からは、同じく久留米市東部の『田主丸の魅力』をテーマにお届けします。  
お楽しみに。